



世取山大輔さん・香織さん夫妻

下野市出身のご夫妻。都内からUターンし、現在、大輔さんは地元ケーブルテレビ局、香織さんは資格を生かし地元で勤務。2人の子と家族4人暮らし。

私たち夫婦は2人とも下野市出身。僕は大学時から千葉・東京へ、妻はワーキングホリデーでカナダに滞在していた時期以外は、ほぼ地元暮らし。結婚を機に、2人揃って都内で新生活が始まったものの、やはり妻は都会暮らしが息苦しいようでした。

Uターンのきっかけは、妻が長男を妊娠中に東日本大震災が起きたことでした。当時私は映像関係の仕事で家を空けることが多く、震災時も妻に心細い思いをさせてしまったのです。妻はのびやかな環境で子育てをしたいと強く望んでいましたし、私も何かの時に頼れる存在がそばにいたほうがいいとUターンを決意。好きな仕事でしたが、情報の多い都会に少し疲れてしまった頃でしたし、一度リセットして家族とゆつくりと暮らしたいと思ったんです。情報は必

要なものだけで十分だし、些細な事だけでも洗濯は外でも中でも干せる。子どもが遊べる公園も多い。当然と思っていた地元のよさが当然じゃないことに、ようやく気付けたんですね。また、人口1人当たりの医師数が全国でトップクラスであることも、家族の健康を守る面でも大切なポイントとなっています。

下野市は、すごく自立ったものがあるわけでもないけれど、そこがいいんです。不便を感じない暮らし、公園や学校、病院、自然。大きな主張がない分、日常生活の基盤がしっかりとあることが、安心な暮らしにつながる。情報と一緒に、特別に手に入れたものがあるれば、外に出ればいい。そんなところが、今の時代にあっているんじゃないかと思えます。

暮らしにかかせないものがそばにあるから大切な家族を安心な毎日へと導いてくれる



幸せな暮らしがある下野市の魅力

Charm Point  
02  
世取山ご夫妻



「下野市は道も平坦でサイクリングにぴったり」と、自転車好きの大輔さん。子どもたちと公園に行くときも、もちろん愛用の一台で。休日は近所の森へ次男の修麻(しゅうま)君と虫取りに出かけたり、サッカークラブに所属する長男の透目(とら)君と庭で練習をしたりと家族時間を満喫。駐車場と広い庭、ぜひとかな平屋住宅の夢を叶えられたのも、この街だったからと話す世取山さん夫妻。

暮らしに必要なものはこの街にあるそれが時代に合っていると思います



震災を経験し、安心できる家がほしいと地元工務店にRC住宅を注文。お互いの実家からも近く、共働きながらも安心な毎日を送っている。



おすすめSPOT!!

遊びもスポーツ競技も市民が集う運動公園

大松山運動公園



遊び場や運動施設、自然とふれあえる公園として市民から親しまれている大型総合運動公園。防災機能も備えている。

満開の桜に囲まれてピクニックも楽しもう

天平の丘公園



お花見の名所として知られる、美しい自然林と貴重な足跡が残された公園。園内にはデリカカフェやシェアスペースも。

大谷石蔵群を改装した農と食の複合施設

吉田村 VILLAGE



ホテル、ベーカリー、農産物直売、ガーデニングセレクトショップを併設する、農と食のライフスタイルコンセプト施設。

公園や病院が充実！子育て環境抜群です！

